

5月27日(水曜日)「プライベートな祝福」

【新改訳 2017】

Ⅰ 歴代誌 4・9、10

「ヤベツは……神に呼ばわって言った。『私を大いに祝福し、私の地境を広げてください……。御手が私とともにありわざわざいから遠ざけて私が苦しむことのないようにしてください……。』そこで神は……かなえられた。」(10節)

このような記事が聖書の中にあることに、言いようのない慰めと喜びを感じます。イスラエルの十二部族の系図が延々と続く中で、極めて個人的な祈り、自己中心と思われるような祈りに、神が応えてくださったというのです。

ヤベツは、その父母の名も記されていません。ただ、「彼の兄弟たちよりも重んじられた」と

ありますが、母は悲しみのうちに彼を生んだので、「ヤベツ」(悲しみ)と名づけたとつけ加えられているだけです。しかし、神は特別な指導者とも思われない人物の、個人的に祝されることの願いをかなえられたのです。そして、記録にさえ残してくださり、素直に祈りを求めるように励ましてくださっているのです。

～祈り～

主よ。あなたは、まことにプライベートな祝福を求める祈りにもお答えくださることを感謝いたします。この小さき者の祈りをも覚えてください。

【学びのために】

ピリピ4・6参照。